

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

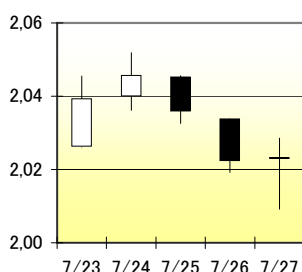


## 1. マーケット・レート

			7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0390	2,0460	2,0360	2,0220	2,0230	+0,0010
	USD/YEN	Spot	78,40	78,21	78,13	78,22	78,56	+0,3400
	EUR/USD	Spot	1,2133	1,2063	1,2152	1,2284	1,2307	+0,0023
	BRL/YEN	Spot	38,45	38,23	38,37	38,68	38,83	+0,1500
Swap	Dollar Clear	6MTH(p.a.)	1,79	1,71	1,67	1,65	1,72	+0,0655
		1Year(p.a.)	2,19	2,14	2,10	2,01	2,03	+0,0216
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,35	7,36	7,33	7,35	7,37	+0,0199
		1Year(p.a.)	7,36	7,37	7,33	7,39	7,46	+0,0741
Stock	Bovespa		53.034	52.639	52.608	54.003	56.553	+2.550,40
Bond	CDS Brazil 5y		148,76	152,88	152,06	142,92	137,46	-5,4620
	Global 40		129,500	128,875	128,750	129,125	128,625	-0,5000

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



ボベスパ指数月次チャート



CRB商品指数月次チャート



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	トنبニ 伯中銀 総裁	インフレは抑えられており、ターゲット内に収まるだろう ブラジルには投資の増加が必要
なし					

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は  $US\$1=R\$2.0260$  で寄り付いた。
- 週初はスペインの6つの地方政府が中央政府に救済を求める可能性があるとの報道に加え、ギリシャの債務削減目標が未達となる可能性があるとの一部報道を受けてユーロが下落し、リアルも売り優勢の展開の中、24日には週間安値となる  $US\$1=R\$2.0520$  を付けた。
- 翌25日にはECBの政策委員会メンバーによる「欧州安定化メカニズムに対して銀行免許を与えることも検討の余地がある」とのコメントや、予想を下回った米経済指標を受けて米追加緩和への期待が高まり、リアルは2.03台後半まで反発した。
- 週末にかけてはドラギ ECB 総裁が、ECBはユーロの存続のために必要ないかなる措置も取る用意があると表明したことに加え、独仏首脳もユーロ防衛への決意を示唆したことからユーロは急伸し、リアルもつられて2.02を上抜けて上昇した。
- 27日には連日に渡り報道されている欧州債務危機解決に向けてのポジティブなニュースが好感され、株式市場を中心にリスク資産の買いが優勢となる中、リアルは週間高値となる  $US\$1=R\$2.0100$  を付けた。
- しかし、伯中銀が8月に満期を迎えるドル売り Swap ポジションをロールしないとの報道を受けてリアルは一時2.02台後半まで反落し、結局  $US\$1=R\$2.0230$  で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	予想	前回
7/30	FGVインフレ率-IGP-M(前月比)	1.25%	0.66%
7/30	FGVインフレ率-IGP-M(前年比)	6.57%	5.14%
7/30	中央政府予算	3.6B	1.8B
7/31	純債務対GDP比	—	35.0%
7/31	基礎的財政収支	8.9B	2.7B
8/1	FGV CPI IPC-S	0.31%	0.28%
8/1	鉱工業生産(季調済/前月比)	0.8%	-0.9%
8/1	鉱工業生産(季調前/前年比)	-4.4%	-4.3%
8/1	製造業購買担当者指数	—	48.5
8/1	貿易収支(FOB)-月次	\$2000M	\$807M
8/2	FIPE消費者物価指数(月次)	0.22%	0.23%
8/3	PMIサーブス業	—	53.0

## 6.来週の為替市場注目点

### 予想相場レンジ : 2.00~2.06

ドラギ ECB 総裁に加えて独仏首脳からもユーロ防衛に対して積極的な姿勢が示されたことから欧州債務危機に対する市場のセンチメントは和らぎ始めている。一方で、全体的に予想を下回る米経済指標を受けて米連邦公開市場委員会による米追加緩和への期待が高まっており、来週開催予定の米 FOMC が注目される。米追加緩和が行われる場合にはリスク資産に買いが入り、レアルも買われることが予想される。しかしトンビニ伯中銀総裁のコメントにもある通り、伯中銀はレアル安による輸出促進を狙っていることは明確であり、引き続き中銀による介入警戒感も根強く、ボラティリティーは限定的となるであろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。